

# JOCエリートアカデミーだより



## 【レスリング】 世界選手権大会



【初出場で見事優勝した須崎さん(右)日本レスリング協会HPより】

世界レスリング選手権大会が8月21日から26日までパリ(フランス)で開催され、日本代表として須崎さんが出場しました。須崎さんは、カデット世界選手権大会に出場し3年連続優勝を果たし、今年はジュニア世界選手権大会代表を飛び越えて、シニア世界選手権大会に初出場しました。1回戦から準々決勝までの3試合は、圧倒的な大差で全てテクニカルフォール勝ちを収めました。準決勝ではキム・ソンヒョン選手(北朝鮮)と対戦し、序盤4対2とリードしましたが、終盤に入り相手の反撃に一瞬ヒヤリとなりながらも5対2で勝利しました。決勝では欧州選手権3位のアリナ・エミリア・ブク選手(ルーマニア)に開始早々4点を奪われましたが、冷静に試合を進め、得意のタックルで相手のバックをとってからローリングなどで加点し、3分42秒に14対4のテクニカルフォール勝ちで優勝を果たしました。

須崎さんは5月に開催されたアジア選手権大会(インド)での課題をしっかりと克服したことで、今回の優勝に結びつけることができました。須崎さんは「18歳1ヶ月26日」での優勝であり、これは日本レスリング界で第2位の最年少記録です。

JOCエリートアカデミー在籍中のシニア世界選手権優勝は初めてで、競技を超えて競い合っていることが今回の優勝にも繋がっています。また、修了生の向田さん(至学館大学2年)も決勝に進出、残り10秒で逆転されて惜しくも2位となり、昨年の55kg級優勝に続く2連覇はなりませんでした。

— 須崎さんの言葉 —

どの選手も世界選手権で勝つためにやっており、今回は勝つことの厳しさを実感しました。研究されてきていると感じますが、それでも勝てるような選手になり、来年以降の世界選手権は勿論のこと2020年のオリンピックでも金メダルをとりたいです。

## 【卓球】 ワールドツアー

8月22日から27日までオロモウツ(チェコ)で開催されたITTFワールドツアーチェコ・オープンで張本君が14歳61日のツアー史上最年少で初優勝を果たしました。



【優勝した張本君(日本卓球協会HPより)】

張本君は決勝トーナメント1回戦、2回戦、準決勝と勝ち進み、決勝に進出しました。決勝の相手は元世界ランキング1位のベテラン、ティモ・ボル選手(ドイツ)。

前半は1対2とリードされましたが、最終的には4対2のゲームスコアで勝利し、優勝を果たしました。張本君の世界ランキングは20位(8月時点)でしたが、今大会の優勝で自己最高の13位となりました。(9月現在)

— 張本君の言葉 —

自分でも試合中に焦らなくなったことや感情を表情に出さなくなったことなど、成長を感じています。準決勝の最終ゲームは終始リードされていましたが、最後まで諦めない気持ちを保つことができたことが逆転に繋がったと思います。決勝で22歳も年の離れた選手に勝てたのは、思い切ってやろうという気持ちで試合に望めたことが大きかったと思います。そして、ベンチのタイムアウトのタイミングが非常に良かったので、試合の流れをつかむことができたと思います。

## 【レスリング】 世界ジュニア選手権大会

世界ジュニア選手権大会が8月1日から4日までタンペレ(フィンランド)で開催され、女子55kg級に日本代表として南條さんが出場しました。

南條さんは、初戦(2回戦)から、U-23欧州選手権2位のアゼルバイジャンの選手や昨年3位のウクライナの選手を下し、決勝に進出。決勝は、パンアメリカン選手権優勝のリエナ・デラ・カリダド・モンテロ・ヘレラ選手(キューバ)を6対4で下し、優勝を果たしました。今年に入って、1月のヤリギン国際大会(ロシア)、5月にアジア選手権大会(インド)のシニア2大会に続く国際大会3連勝となりますが、世界ジュニア選手権での優勝は初めてとなります。

—南條さんの言葉—

シニア世界選手権に出場できなかった悔しさを胸に「何が何でも優勝する」という気持ちで練習してきました。決勝戦では残り10秒で足を取られ逆転されそうになりましたが、絶対に優勝するという強い気持ちを最後の最後まで持ち続けることができたので勝ちきることができました。鏡さんがインターハイで優勝した

ので、自分もしっかりと役割を果たして、世界選手権を控えた須崎さんに最高の形でバトンを繋ごうと思っていたので優勝できてよかったです。でも、世界選

手権に出場できなかった悔しさはとても大きいので、この悔しさを胸に、来年こそは絶対に出場するという信念を持って練習し、もっと強くなって国内でしっかり勝ち、世界選手権に出場できるように頑張ります。



【優勝した南條さん】

## 【レスリング】

### 全国高等学校選手権大会

第64回全国高等学校レスリング選手権大会が7月30日から8月2日までの4日間山形県上山市で開催され963名が出場しました。

男子60kg級に出場した櫛君は、準決勝で春の全国高等学校選抜選手権優勝者を5対2で破り、決勝に進出。決勝でも、1分16秒にテクニカルフォールで優勝を果たしました。男子66kg級に出場した佐藤君は、準決勝で、今大会の同階級で優勝した選手と対戦し、先取点を取りながらも2対6の逆転判定負けで惜しくも3位となりました。また、女子70kg級に出場した鏡さんは、1年生ながら3試合をそれぞれテクニカルフォール勝ちし、決勝戦に進出しました。決勝戦では、1分33フォール勝ちという圧倒的な強さで優勝を成し遂げました。

3名は、9月に開催される世界カデット選手権大会アテネ(ギリシア)への出場が決定しており、今大会の経験を活かし、金メダルを獲得して欲しいと思います。

## 【水泳/飛込】

### 全国高等学校選手権大会

第85回日本高等学校選手権水泳競技大会が8月17日から20日までの4日間、宮城県利府町で開催され、男子飛板飛込で伊藤君が優勝を果たしました。また学校対抗戦でも、帝京高校が男子総合優勝、女子準優勝を飾りました。

男子飛板飛込は、予選(6本の自由選択飛)と、その得点の上位12名による決勝(5本の制限選択飛と6本の自由選択飛)という形式で行なわれました。予選は、伊藤君が1位、遠藤君は4位、山田君は6位で決勝進出を果たしました。決勝、伊藤君は自由選択飛に入って、思うような演技ができず得点が伸

びませんでした。また、遠藤君も3本目で失敗し、上位進出が難しい状況に追い込まれました。終盤に入ると他の選手は高得点を出し、優勝を狙う伊藤君にとっては苦しい試合展開となりましたが、最終演技を残して3位となった伊藤君は、最終の試技で高得点(76.50)をマークし、逆転で念願のインターハイ初優勝を果たしました。また、高飛込では伊藤君が3位、山田君が4位となりました。一方、女子飛板飛込と高飛込では、近藤さんが予選から順位を上げ、それぞれ4位入賞を果たしました。

## 【卓球】

### 全国中学校卓球大会

第48回全国中学校卓球大会が8月23日から25日まで、大分県別府市で開催され115名が参加し、女子シングルスに出場した木原さんが優勝、長崎さんが2位の“ワンツー・フィニッシュ”を果たしました。長崎さんは昨年度の優勝者で第1シードとなり、1回戦は免除で2回戦からの出場でした。一方、木原さんも第6シードで1回戦は免除となり、2回戦からの出場となりました。2人は順当に勝ち進み、決勝はJOCエリートアカデミー生対決となりました。ゲームはお互い激しいラリーの応酬となりましたが、木原さんが2ゲームを先取。その後、長崎さんが1ゲームを取りましたが、最終ゲームも木原さんが11対9で勝利し、初優勝を飾りました。

「勝って当然」「決勝に残って当然」という会場の雰囲気の中で、しっかり結果を残すことができた要因は、多彩なテクニックで対戦相手を圧倒していたことにあり、日頃の質の高い練習とコーチの高い指導力によるものです。今後は、より大きなプレッシャーと戦うことになる2人にとって大きな財産となりました。

## ユニバーシアード競技大会

8月14日から30日までタイペイで開催された第29回ユニバーシアード競技大会に修了生8名(卓球1名、フェンシング6名、水泳/飛込1名)が出場し、金メダル2個、銀メダル1個、銅メダル2個を獲得しました。



【結団式での修了生】

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。  
<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>

公益財団法人 日本オリンピック委員会



JOCエリートアカデミー事業

〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1

味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356